

G

GDIOS

Velocity PoC Program

12-Week Proof of Concept — From kickoff to first KPI move

Growth and Decision Intelligence OS

ソフィアプロジェクト ・ Program Overview ・ v1.0 ・ 2026-05

Velocity PoC とは

Velocity PoC は、12週間（3ヶ月）でKPI改善まで伴走するGDIOSの効果実証プログラムです。「導入してみたいが、まず効果を確認したい」というお客様向けに、リスクを最小化しつつ最も確実に価値を体感していただくための集中プログラムです。

プログラムの特徴

- ・対象を絞る：1～2ユースケースに集中し、確実な効果実証を実現
- ・固定費：¥1,500,000（12週間・ユースケース1～2本）
- ・伴走支援：AIエージェント群 + 専門メンバーが共同で対応
- ・本番展開へのパス：PoC成功時は優先的に本番ローンチへ

12週間（3ヶ月）のスケジュール

週	フェーズ	実施内容
Week 1-2	Discovery	課題ヒアリング、ユースケース選定、データソース棚卸し、Success Criteria合意
Week 3-4	Design	意思決定マップ、指標体系、AIエージェント配置、承認フローの設計
Week 5-6	Build	Decision Cockpit構築、データ統合（主要3～5接続）、AIエージェント設定
Week 7-8	Pilot Launch	限定ユーザー（5～15名）で本番運用開始。最初の意思決定が動き始める
Week 9-10	Iterate	運用フィードバックを反映、KPI測定とチューニング
Week 11-12	Review & Decide	効果検証ワークショップ、本番展開のGo/No-Go意思決定

成果物

PoC期間中に納品する主な成果物

- ・意思決定マップ：対象ユースケースの「誰が・何を・いつ決めるか」を可視化した設計図
- ・Decision Cockpit (PoC構成)：対象ユースケースに最適化されたダッシュボード
- ・AIエージェント設定書：配備するエージェントの推論ロジックと業務責任分界

- ・ワークフロー連携設定：Slack/Teams/タスク管理ツールへの自動配信設定
- ・効果測定レポート：KPI改善幅、ROI試算、本番展開の推奨範囲
- ・本番展開プラン：PoC後にスケールするためのロードマップ

Success Criteria の設計

PoCの成否を判断する Success Criteria は、Discoveryフェーズでお客様と合意します。「事前合意した目標を達成できなかった場合」の対応も契約段階で明文化します。

Success Criteria の例

ユースケース	Success Criteria の例
新規事業の意思決定支援	仮説検証LT -50% / Go/No-Go判断材料の質向上
週次経営レビューの自動化	レビュー準備工数 -70% / 経営会議の所要時間短縮
パイプライン異常検知	対象セグメントの失注率改善 / 商談前進率の向上
チャーン予兆検知	高リスク顧客の早期検知率 / CSアサインLT短縮

コスト構造

項目	金額	説明
固定費	¥1,500,000	12週間の固定費。範囲はユースケース1~2本
追加ユースケース	¥500,000 / 1本	対象を3本以上に拡張する場合
未達時の対応	-	両者合意の下で期間延長で対応（返金は対象外）。延長条件は契約段階で明文化

リスクと対応方針

リスク	対応方針
データ統合の遅延	事前にデータソースのアクセス権限・形式を確認。代替データでの暫定運用も可能
対象ユースケースの選定ミス	Week1のDiscoveryで早期にスコープ調整。最大1回までユースケース変更可
KPI改善が見えにくい	Week 9以降のIterateフェーズで運用調整。期間延長オプションも提供

リスク	対応方針
社内合意形成の遅れ	週次同期会議で経営層との対話を継続。意思決定者を巻き込んだ運用設計

お申し込みの流れ

#	ステップ	内容
1.	オンライン相談 (45分)	対象ユースケースのすり合わせ、PoC範囲の概算
2.	提案書のご提出	ヒアリング内容を反映したPoC提案書を1週間以内に提出
3.	契約締結	PoC契約・NDA・データ取扱合意書を締結
4.	PoC開始	Week 1のDiscoveryからスタート

お問い合わせ : info@gdios.jp